

「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 齊藤 隆

川に学ぶ体験活動協議会（略称RAC）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、平成16年12月現在、133団体が加入しています。今年の活動を、いくつかポイントを絞って詳しくご紹介いたします。

【第4回川に学ぶ体験活動全国大会in日野川流域】

「川に学ぶ」社会形成に向け、「川に学ぶ」ことの意義を普及することを目的にして開催しています。今年8月21日（土）・22日（日）に福井県武生市を中心に開催しました。開催地の日野川流域では、川で活動する団体間の交流や連携が盛んなところ。当大会の実行委員会だけで100名を越える方々の協力体制によって運営されました。

今回の大会の特色は、①先ず体験型の分科会から行ったこと、②分科会は各「川の駅」の特色を生かして行ったこと、③これまでの共通テーマであった「魅力ある川づくり」「正しく広範な知識・情報の提供」「川に学ぶ機会の提供」「主体的、継続的な活動のために」の4つのテーマを各分科会が取り入れた体験型分科会としたこと、④参加者はこの4つのテーマを、頭で意識しなくても体験を共有することで、共通理解が形成され、分科会まとめの時には多くを語らずとも、各分科会での重要ポイントを持ち帰ることができたこと、等。地域社会の基盤にある、日野川流域の方々が日頃から積み上げている温かなコミュニティそのものを体験できたことが、今回の大会では何よりも貴重な経験だと思われま



○分科会

A分科会「郷土・伝統のおもてなし」

- ・トゲウオの生態について（講演）
- ・豊富な湧き水に恵まれた治左川の梅花藻清掃

B・D分科会「文化遺産・スローウォッチングのおもてなし」

- ・日野川利用状況の確認及び利用・保全提案

- ・「赤谷川」砂防堤防見学

C分科会「たのしい笑顔のおもてなし」

- ・子ども対象カヌー教室、川流れ、竹製筏づくり等
- #### ○分科会報告・交流会

交流会は開催地域の方々が集落を挙げての「おもてなし」となり、実行委員会の方々の温かさを郷土料理や踊りなどを通じて参加者一同で味わう機会となりました。

- ポスターセッション・パネルディスカッション

【RACトレーナー研修会】

川の指導者養成講座を開催する場合には、RACの認めるトレーナーが必要です。今年度は東日本（福島県会津若松市・阿武隈川）と西日本（広島県三次市・江の川）で開催。川での体験活動は「川」という特殊な環境における体験活動を行うため、研修会でも、復習として、安全対策に関する実技を取り入れ、PFD（ライフジャケット）を着用して川を流れ、スローロープを使って救助訓練などを行うなど、2泊3日の内容の濃い研修会となりました。

【RAC指導者スキルアップ研修会】

川の体験活動の指導には現場での瞬時の判断を求められます。特に子どもの体験活動では、事故が起きないように準備計画をすることが大前提ですが、「いざ」というときに的確に動けるように、熊本県白川及び岐阜県木曾川にて、訓練を中心に行いました。



<今後へ向けて>

来年度中には、川の安全管理をする際に参考となる実用書を出版物としてまとめる予定です。川の指導者だけでなく河川管理者にも役立つ内容となると思います。乞うご期待ください。

＜川に学ぶ体験活動協議会＞

東京都中央区入船1-9-12 河川環境管理財団内

TEL. 03-3297-2608 FAX. 03-3297-2609

<http://www.rac.gr.jp/>

（子ども水辺サポートセンター内）